



スナップショットを使用してデータを保護する Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

スナップショットを使用してデータを保護する	1
NetApp Workload Factory でスナップショットを使用してデータを保護する	1
ボリュームのオンデマンドスナップショットを作成する	1
ストレージVMのスナップショットポリシーを作成する	2
スナップショットからボリュームを復元する	3
NetApp Workload Factory でボリュームのスナップショットポリシーを管理する	4
ボリュームにSnapshotポリシーを割り当てる	5
Snapshotポリシーを変更する	5
不変Snapshotを有効にする	6
NetApp Workload Factoryで長期スナップショット保持を有効にする	7
ボリュームからSnapshotポリシーを削除する	7
Snapshotポリシーを削除します	8
FSx for ONTAPボリュームのスナップショットを管理します	9
スナップショットを編集する	9
スナップショットにアクセスする	9
スナップショットからデータを復元する	10
スナップショットを削除する	10

スナップショットを使用してデータを保護する

NetApp Workload Factory でスナップショットを使用してデータを保護する

スナップショットを作成および管理することで、NetApp Workload Factory においてボリュームデータを偶発的な削除や破損から保護できます。ボリュームのオンデマンドスナップショットを作成したり、スナップショットポリシーを定義してストレージVMのスナップショットの作成とデータ保持を自動化したり、既存のスナップショットからボリュームを復元して特定のポイントインタイムのデータを回復したりすることができます。

ボリュームのオンデマンドスナップショットを作成する

NetApp Workload FactoryでFSx for ONTAPボリュームの手動スナップショットを作成します。スナップショットは、ボリュームのコンテンツのポイントインタイムのバージョンです。

スナップショットはボリュームのリソースであり、変更されたデータにのみ容量を消費するデータのインスタントキャプチャです。データは時間の経過とともに変化するため、スナップショットは通常、古くなるにつれてより多くの容量を消費します。

FSx for ONTAPボリュームはタイミングよくcopy-on-writeを使用するため、スナップショット内の未変更ファイルがボリュームの容量を消費することはありません。



スナップショットはデータのコピーではありません。データのコピーを作成したい場合は、ボリュームバックアップ機能またはボリュームレプリケーション機能の使用を検討してください。

開始する前に

ボリュームの手動スナップショットを作成するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. **FSx for ONTAP** から、スナップショットを作成するボリュームを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、**管理** を選択します。
4. ファイルシステムの概要画面で、「ボリューム」タブを選択します。
5. 「ボリューム」タブから、スナップショットで保護するボリュームのアクションメニューを選択します。
6. ***データ保護アクション***を選択し、次に***スナップショットの管理***を選択します。
7. 「スナップショットの管理」ページから、***スナップショットの作成***を選択します。
8. 「スナップショットの作成」ダイアログで、次の操作を行います：

- a. *スナップショット名*フィールドにスナップショット名を入力してください。
- b. 必要に応じて、ラベルを選択するか、新しいラベルを作成してください。
- c. *保持期間*を時間、日数、月数、または年数で設定してください。
- d. オプション：*このスナップショットを不変にする*ことで、保持期間中にスナップショットが削除されるのを防ぎます。

不変スナップショットに関する記述に同意してください。

9. 「作成」を選択します。

ストレージVMのスナップショットポリシーを作成する

Workload FactoryのストレージVM用にカスタムSnapshotポリシーを作成し、スナップショットの作成と保持を管理します。Snapshotポリシーは、システムがストレージVMのスナップショットを作成する方法を定義します。FSx for ONTAPファイルシステムのストレージVM用にSnapshotポリシーを作成できます。複数のストレージVM間でポリシーを共有することもできます。

FSx for ONTAPの3つの組み込みSnapshotポリシーとは異なるカスタムSnapshotポリシーを作成できます：

- default
- default-1weekly
- none

デフォルトでは、すべてのボリュームはファイルシステムの `default` Snapshotポリシーに関連付けられています。ほとんどのワークロードにおいて、このポリシーの使用をお勧めします。

ポリシーをカスタマイズすることで、スナップショットを作成するタイミング、保持するコピーの数、およびスナップショットの名前を指定できます。

開始する前に

- Snapshotポリシーが作成されると、ストレージVMとの関連付けは変更できませんが、ボリュームへのポリシーの追加や削除はいつでも可能です。
- スナップショットを使用する前に、スナップショットの容量について以下の点を考慮してください。
 - ほとんどのデータセットの場合、20%の追加容量があれば、Snapshotを最大4週間保存するのに十分です。データが古くなるにつれて、復元に使用される可能性は低くなります。
 - スナップショット内のすべてのデータを上書きすると、かなりのボリューム容量が消費されるため、ボリューム容量のプロビジョニングに影響します。
- カスタムスナップショットポリシーを作成するには、リンクに関連付ける必要があります。["既存のリンクに関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. **FSx for ONTAP** から、ボリュームのあるファイルシステムのアクションメニューを選択し、**管理** を選択

します。

4. ファイルシステムの概要画面で、「**Storage VMs**」タブを選択します。
5. *ストレージVM*タブから、スケジュールされたSnapshotで保護するボリュームのアクションメニューを選択し、*高度なアクション*を選択してから、*Snapshotポリシーの管理*を選択します。
6. Snapshotポリシー管理ページで、*Snapshotポリシーの作成*を選択します。
7. *Snapshotポリシー名*フィールドに、Snapshotポリシーの名前を入力します。
8. 必要に応じて、Snapshotポリシーの説明を入力してください。
9. *ポリシーのスケジュールとコピー*で、スナップショットを作成するタイミングを選択します。例えば、1分ごと、または1時間ごとなど。

複数の頻度を選択できます。

10. コピー部数 に、保持するコピー数を入力します。

最大コピー数は1,023部です。

11. オプション：*命名規則*に、ポリシーの*プレフィックス*を入力します。
12. *保管ラベル*は自動的に入力されます。

このラベルは、SnapMirror、またはソースファイルシステムからターゲットファイルシステムへのレプリケーションで指定されたスナップショットのみを選択するために使用されるレプリケーションラベルを指します。

13. オプション：必要なスケジュールに対して*不変スナップショット*を有効にし、各スケジュールの*保持期間*を設定して、ステートメントを承認して続行します。

不変スナップショットを有効にすると、このスナップショットポリシー内のすべてのスナップショットがロックされ、保持期間中にスナップショットが削除されるのを防ぎます。

14. ストレージ**VM**間で共有：デフォルトで有効になっています。有効にすると、スナップショットポリシーはファイルシステム内のすべてのストレージVM間で共有されます。単一のストレージVMに対してスナップショットポリシーを作成する場合は無効にします。
15. 「作成」を選択します。

スナップショットからボリュームを復元する

スナップショットから既存のボリュームまたは新しいボリュームにデータを復元できます。復元操作により、ボリュームに削除または破損したファイルが含まれている場合のポイントインタイム リカバリが可能になります。

スナップショットから新しいボリュームを作成すると、ボリュームのサイズに関係なく、数秒以内にボリューム全体のコピーが作成されます。新たに作成されたコピーは、新しいボリュームを表します。

開始する前に

スナップショットからボリュームを作成する前に、以下の制限事項を考慮してください。

- ボリュームのスナップショットコピーが既に存在する場合に限り、スナップショットからボリュームを復元できます。

- アクセス許可モデルの変更：この操作を使用してネットワーク接続ストレージ（NAS）のプロトコルタイプを切り替えると、セキュリティスタイルが提供するアクセス許可モデルも切り替わる可能性があります。ファイルアクセス権限の問題が発生する場合がありますが、これは管理者権限を持つNASクライアントツールを使用して権限設定を行うことで手動で解決できます。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
 2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
 3. **FSx for ONTAP** から、ボリュームのあるファイルシステムのアクションメニューを選択し、**管理** を選択します。
 4. ファイルシステムの概要画面で、「ボリューム」タブを選択します。
 5. *ボリューム*タブから、スナップショットからリストアするボリュームのアクションメニューを選択します。
 6. *データ保護アクション*を選択し、次に*スナップショットの管理*を選択します。
 7. スナップショットの管理ページから、復元するスナップショットのアクションメニューを選択し、*復元*を選択します。
 8. 「スナップショットからボリュームを復元する」ダイアログで、以下のオプションから選択します：
 - 切り替えて、*新しいボリュームとしてリストア*を選択します。
 - *復元ボリューム名*フィールドに、復元するボリュームの一意の名前を入力します。
 - スナップショットから既存のボリュームにデータを復元します。この操作により、スナップショット作成時刻以降に変更されたデータはすべて完全に削除されます。
- 続行するには、ステートメントに同意してください。
9. *復元*を選択します。

NetApp Workload Factory でボリュームのスナップショットポリシーを管理する

Workload FactoryでFSx for ONTAPボリュームのSnapshotポリシーを管理します。Snapshotポリシーは、システムがボリュームのスナップショットを作成する方法を定義します。

FSx for ONTAPファイルシステム内のボリュームに対するSnapshotポリシーの割り当て、変更、削除などのSnapshot管理操作は、ストレージVMレベルで管理されます。Snapshotポリシーは、単一のストレージVMと共有することも、すべてのストレージVMと共有することもできます。

一部の管理タスクでは、FSx for ONTAP ファイルシステムにリンクを関連付ける必要があります。["Workload Factoryのリンクについて学ぶ"](#)。

デフォルトでは、すべてのボリュームはファイルシステムの`default` Snapshotポリシーに関連付けられています。ほとんどのワークロードにおいて、このポリシーの使用をお勧めします。

ボリュームに**Snapshot**ポリシーを割り当てる

Snapshotポリシーを単一のボリュームに割り当てることで、そのボリュームのスケジュールされたSnapshotを作成できます。

開始する前に

スナップショットポリシーを割り当てるには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > ストレージ を選択します。
3. ストレージメニューから、*インベントリ*を選択します。
4. Snapshotポリシーを割り当てるボリュームを含むファイルシステムのアクションメニューを選択し、次に*管理*を選択します。
5. ファイルシステムの概要画面で、「**Storage VMs**」タブを選択します。
6. *ストレージVM*タブから、スケジュールされたスナップショットで保護するボリュームを含むストレージVMのアクションメニューを選択し、*高度なアクション*を選択してから、*Snapshotポリシーの管理*を選択します。
7. Snapshotポリシー管理ページで、Snapshotポリシーのアクションメニューを選択し、*ボリュームにポリシーを割り当てる*を選択します。
8. 「Snapshotポリシーの割り当て」ダイアログで、ボリュームに割り当てるSnapshotポリシーを選択し、ポリシースケジュールを確認します。

ポリシーに不変のスナップショットが含まれており、それを使用する場合は、ステートメントを受け入れてください。

9. *割り当て*を選択します。

結果

Snapshotポリシーがボリュームに割り当てられています。

Snapshotポリシーを変更する

Snapshotポリシーの名前、スケジュール、保持するコピー数を変更したり、不変スナップショットを有効または無効にしたりできます。ストレージVM間でポリシー共有を有効または無効にすることはできません。このオプションは、Snapshotポリシーの作成時のみ利用可能です。

開始する前に

既存のスナップショットポリシーを表示するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。

2. メニュー  から、ワークロード > ストレージ を選択します。
3. ストレージメニューから、*インベントリ*を選択します。
4. ファイルシステムのアクションメニューを選択し、次に 管理 を選択します。
5. ファイルシステムの概要画面で、「**Storage VMs**」タブを選択します。
6. *ストレージVM*タブから、スケジュールされたスナップショットで保護するボリュームを含むストレージVMのアクションメニューを選択し、*高度なアクション*を選択してから、*Snapshotポリシーの管理*を選択します。
7. Snapshotポリシー管理ページで、変更するSnapshotポリシーのアクションメニューを選択し、*編集*を選択します。
8. Snapshotポリシーの編集ダイアログで、Snapshotポリシーに必要な変更を加えます。
9. 「適用」を選択します。

結果

Snapshotポリシーが更新されました。

不変Snapshotを有効にする

スナップショットをロックして、保持期間中に削除されないようにしてください。

開始する前に

不変スナップショットを有効にするには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > ボリュームエクスプローラー を選択します。
3. スナップショットをロックするボリュームのアクションメニューを選択してください。
4. データ保護アクション、*スナップショット*の順に選択し、*スナップショットを不変にする*を選択します。
5. 「スナップショットを不変にする」ダイアログで、次の操作を行います：
 - a. **Snapshot名**：ロックするSnapshotを選択してください。
 - b. *保持期間*を時間、日数、月数、または年数で設定してください。
 - c. ステートメントに同意します。
6. 「適用」を選択します。

結果

ボリュームスナップショットはロックされました。

NetApp Workload Factoryで長期スナップショット保持を有効にする

NetApp Workload Factoryでは、長期保存用のスナップショットを有効にすることができ、特定のスナップショットをレプリケートして長期的なディザスタリカバリに利用できます。

長期保持により、完全なサイト障害が発生した場合でもビジネスサービスの運用を継続でき、セカンダリコピーを使用したアプリケーションの透過的なフェイルオーバーがサポートされます。

長期保存用のスナップショットを有効化および編集する場合も、同様の手順が適用されます。

オンプレミスのONTAPクラスタがレプリケーション関係のターゲットである場合、長期保存のためのスナップショットの変更はサポートされていません。



ストレージ VM データと構成設定を複製する場合、長期保存の編集は使用できません。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*メニューから*インベントリ*を選択し、更新するファイルシステムのアクションメニューを選択してから*管理*を選択します。
4. ファイルシステムの概要から、*レプリケーション関係*タブを選択します。
5. レプリケーション関係タブで、変更するレプリケーション関係スケジュールのアクションメニューを選択します。
6. *長期保存の編集*を選択します。
7. 「長期保存の編集」ダイアログで、長期保存用のスナップショットを有効または無効にします。
8. 長期保存用のスナップショットを無効にする場合は、*適用*を選択してこの操作を完了してください。
9. 長期保存のためにスナップショットを有効にする場合は、既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成するかを選択してください。
 - a. 既存のポリシーを使用するには、ドロップダウンメニューから選択してください。
 - b. 新しいポリシーを作成するには、以下の情報を提供してください：
 - i. ポリシー名：ポリシー名を入力してください。
 - ii. **Snapshot**ポリシー：1つ以上のSnapshotポリシーを選択してください。
 - iii. 保持するコピー数：ターゲットファイルシステムに保持するスナップショットコピーの数を入力してください。
10. 「適用」を選択します。

ボリュームからSnapshotポリシーを削除する

ボリュームのスナップショットが不要になった場合、または複数のボリュームに割り当てられているSnapshotポリシーを削除する場合は、ボリュームからSnapshotポリシーを削除します。複数のボリュームに割り当てられている[Snapshotポリシーを削除する](#)するには、すべてのボリュームから手動で削除する必要があります。

開始する前に

スナップショットポリシーを削除するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*メニューから*インベントリ*を選択し、更新するファイルシステムのアクションメニューを選択してから*管理*を選択します。
4. ファイルシステムの概要画面で、「**Storage VMs**」タブを選択します。
5. *ストレージVM*タブから、スケジュールされたスナップショットで保護するボリュームを含むストレージVMのアクションメニューを選択し、*高度なアクション*を選択してから、*Snapshotポリシーの管理*を選択します。
6. Snapshotポリシー管理ページで、Snapshotポリシーのアクションメニューを選択し、*ボリュームにポリシーを割り当てる*を選択します。
7. Snapshotポリシーの割り当てダイアログで、*なし*を選択してSnapshotポリシーを削除します。
8. *割り当て*を選択します。

結果

Snapshotポリシーがボリュームから削除されます。

Snapshotポリシーを削除します

Snapshotポリシーが不要になったら、削除してください。

Snapshotポリシーが複数のボリュームに割り当てられている場合、Snapshotポリシーを削除するには、すべてのボリュームから手動で[削除する](#)する必要があります。または、ボリュームに[別のSnapshotポリシーを割り当てる](#)することもできます。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー 、ワークロード > ストレージ > **FSx for ONTAP** を選択します。
3. *FSx for ONTAP*メニューから*インベントリ*を選択し、更新するファイルシステムのアクションメニューを選択してから*管理*を選択します。
4. ファイルシステムの概要画面で、「**Storage VMs**」タブを選択します。
5. 「ストレージVM」タブから、削除するSnapshotポリシーが設定されているストレージVMのアクションメニューを選択し、「高度なアクション」を選択してから、「Snapshotポリシーの管理」を選択します。
6. Snapshotポリシー管理ページで、削除するSnapshotポリシーのアクションメニューを選択し、*削除*を選択します。
7. 削除ダイアログで、*削除*を選択してポリシーを削除します。

FSx for ONTAP ボリュームのスナップショットを管理します

Workload Factory では、スナップショット設定の編集、ディレクトリアクセスの有効化、スナップショットの削除を行うことで、スナップショットとデータ保護を管理できます。

スナップショットを編集する

スナップショットの名前、ラベル、および保存期間を編集します。スナップショットがまだ不変でない場合は、スナップショットを不変にすることができます。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > ボリュームエクスプローラー を選択します。
3. スナップショットを編集するボリュームのアクションメニューを選択します。
4. *データ保護アクション*を選択し、次に*スナップショットの管理*を選択します。
5. スナップショットの管理ページから、編集するスナップショットのアクションメニューを選択し、次に*編集*を選択します。
6. 「スナップショットの編集」ダイアログでは、以下の項目を編集できます：
 - a. 名前を変更します。
 - b. ラベルを変更します。
 - c. 保存期間を変更します。
 - d. オプション：*このスナップショットを不変にする*ことで、保持期間中にスナップショットが削除されるのを防ぎます。

スナップショットが既に変更不可になっている場合、この設定を編集することはできません。

不変スナップショットに関する記述に同意してください。

7. 「適用」を選択します。

スナップショットにアクセスする

スナップショットディレクトリへのアクセスを有効にすると、ユーザーがスナップショットに自律的にアクセスできるようになります。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > ボリュームエクスプローラー を選択します。
3. アクセスするスナップショットが含まれているボリュームのアクションメニューを選択します。
4. *データ保護アクション*を選択し、次に*スナップショットの管理*を選択します。

5. スナップショットの管理ページから、アクセスするスナップショットのアクションメニューを選択し、*アクセス*を選択します。
6. 「スナップショットへのアクセス」ダイアログで、*スナップショットディレクトリへのアクセスを有効にする*を選択すると、このボリュームのスナップショットと、そのボリュームのすべてのスナップショットにアクセスできるようになります。
 - NFSボリュームの場合：*NFSアクセスパス*を選択すると、スナップショットのNFSパスが表示されます。
 - SMB/CIFSボリュームの場合：スナップショットのSMBパスを表示するには、*SMBアクセスパス*を選択します。
7. アクセスパスをコピーします。
8. 「適用」を選択します。

スナップショットからデータを復元する

スナップショットから既存のボリュームまたは新しいボリュームにデータを復元するオプションがあります。

"スナップショットからボリュームを復元する"

スナップショットを削除する

空き容量を確保するには、スナップショットを削除してください。

不変スナップショットは、保持期間が終了するまで削除できません。

手順

1. "NetApp Console"にログインします。
2. メニュー  から、ワークロード > ボリュームエクスプローラー を選択します。
3. スナップショットを削除するボリュームのアクションメニューを選択します。
4. *データ保護アクション*を選択し、次に*スナップショットの管理*を選択します。
5. 「スナップショットの管理」ページから、削除するスナップショットのアクションメニューを選択し、*削除*を選択します。
6. スナップショットの削除ダイアログで、「delete」と入力します。
7. 削除を確定するには、*削除*を選択してください。

関連情報

- ["スナップショットを作成する"](#)
- ["Snapshotポリシーの作成"](#)
- ["スナップショットからボリュームを復元する"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。